

2017年10月26日

各 位

会 社 名 株式会社メディアリンクス  
 代表者名 代表取締役社長 ジョン・デイル  
 (コード番号: 6659)  
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 長谷川 渉  
 (TEL. 044-589-3440)

**2018年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異  
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2017年5月8日に公表した2018年3月期第2四半期累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)の業績予想と実績に差異が生じました。また最近の業績動向を踏まえ、2017年5月8日に公表した2018年3月期通期連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)を修正致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 2018年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(2017年4月1日～2017年9月30日)

(単位: 百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	1,800	△430	△440	△460	△81.91
今回実績 (B)	1,468	△509	△515	△560	△99.49
増減額 (B - A)	△331	△79	△75	△100	
増減率 (%)	△18.4	-	-	-	
(参考) 2017年3月期第2四半期実績	2,024	△190	△279	△320	△57.78

差異の理由

売上高については、北米市場は、映像伝送ネットワーク構築の大規模案件が顧客都合により減少もしくは来期以降に延期されたこと等により想定を下回りました。オーストラリア市場は、既存のネットワークの需要一巡により追加オーダーが想定を下回ったこと、さらに、顧客の投資計画および購買政策の変更で新しい映像伝送ネットワーク構築が遅れたことにより、期初の見込みを下回りました。

営業利益、経常利益については、経費削減に努めましたが、売上高が想定よりも減少したことを受け、予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前述の要因に加え、当社が投資有価証券として保有していた株式を売却し、26 百万円特別損失を計上したことから、予想を下回りました。

## 2. 2018 年 3 月期通期連結業績予想の修正(2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A )	5,500	50	40	10	1.78
今 回 修 正 予 想 ( B )	4,350	△350	△360	△420	△74.54
増 減 額 ( B - A )	△1,150	△400	△400	△430	
増 減 率 ( % )	△20.9	-	-	-	
( 参 考 ) 2017 年 3 期実績	4,479	△497	△594	△924	△166.24

### 修正の理由

売上高については、国内市場は、おおよそ期初の予定通り推移すると想定しております。一方で、北米市場は、前年度に大規模案件が多かった反動で今年度の需要が弱含みで推移していること、上半期に想定していた大規模案件の実施が来期以降にずれ込むことなどから、下期に新規受注の獲得に努めますが、現時点では想定を下回る予定です。オーストラリア市場は、前述の通り、顧客の投資計画および購買政策の変更により、今期に当社製品の浸透を図ることが難しい状況が想定され期初の見込みを大幅に下回ることが予想されます。また欧州市場は、新しいソリューションにより新規顧客開拓を継続していますが、今年度への貢献は期待できない見込みです。以上により 2018 年 3 月期通期の売上高は、当初の予想を下回る見込みです。

利益については、徹底した経費削減に努めますが、前述の通り、売上の減少が予想されることから、2018 年 3 月期通期の利益額は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも、前期よりも改善する予定ですが、期初予想は下回る見込みとなりました。

なお、通期業績予想に関しての為替レートは、前回発表の 1 米ドル 105 円から 1 米ドル 110 円に変更しております。オーストラリアドルは、1 豪ドル 80 円で、変更はありません。

上記に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上